臨床指標 *Quality Indicator*

2023 年版

神奈川県立がんセンター

目次

臨床指標 はじめに 1

臨床指標 病院全体統計 2

外来集計 2
入院集計 2

臨床指標 がん治療数と がん治療成績 3

臓器別 新規がん患者数 3
診療科別手術件数 4
低侵襲治療件数 4
内視鏡検査・治療件数 5
全身化学療法件数 5
放射線治療・重粒子線治療件数 5
がん支持治療件数 5
治験数 6
がん種別５年相対生存率 6

臨床指標 安全・安心ながん治療 8

医療安全への取り組み 8

院内感染への取り組み..... 8

臨床指標 がん診療における地域貢献 10

紹介患者の地域.....10
逆紹介率 11

臨床指標 患者サービス・ほか 12

外来会計待ち時間 12
患者満足度 12
入院食事満足度.....12
医療経済への貢献 13

臨床指標 スタッフ育成..... 14

専門看護師数.....14
専門医師・専門歯科医師数 14
専門薬剤師数.....15
そのほかの専門資格・専門研修等の取得者数 15

臨床指標 スタッフ環境..... 17

職員満足度 17

臨床指標
はじめに

神奈川県立がんセンターでは、医療の質や医療サービス、職場環境の改善を行うための指標として「臨床指標　Quality Indicator」を設定しています。

- ✓ 治療成績の向上はもちろん、がん診療における様々な質の改善を目指します
- ✓ 指標を年次評価（一部の指標は月次評価）して、重要な案件は「病院目標」等に掲げて、全職員でシームレスな質改善活動を行います

本誌には、原則としてそれぞれの指標に対して２０１９～２０２１年度の３年分の数値を集計して記載しました。ただし、院内がん登録を用いた項目についてはそれぞれの集計年をもとに記載しました。また、算出基準をそれぞれの指標に付記しました。

ご覧になった患者さん、院外医療機関の皆様、また当院内のスタッフからも「臨床指標」に対するご意見がありましたらぜひお寄せください。

2023 年５月

神奈川県立がんセンター　医療の質評価推進室 QI 研究会

臨床指標
病院全体統計

患者数などの基本統計データを示します。

他施設との比較においては、それぞれの規模が異なりますので単純比較は適切ではありませんが、当施設のご利用状況を把握することができます。

外来集計

指標	2019 年	2020 年	2021 年
新患外来患者数	8,278	7,753	8,081
一日平均患者数	1,066.3	1,056.7	1,111.6
延べ外来患者数	258,041	254,672	267,894
外来・入院患者比率(*1)	1.87	1.98	2.44
セカンドオピニオン数	321	709	716

*1: 延外来患者数を延入院患者数で除した値

入院集計

指標	2019 年	2020 年	2021 年
新入院患者数(*1)	11,891	11,645	10,542
延べ入院患者数	137,950	128,608	109,806
平均在院日数(*2)	11.6	11.0	10.4
病床稼働率(%)(*3)	91.1	84.9	72.5

*1: 年度内の延入院患者数のうち、お一人の患者が複数回入院されても 1 回とカウント
*2: 延べ入院患者数を (0.5×(当年度内新入院患者数＋当年度内退院患者数))で除した割合
*3: 延入院患者数を (稼働病床数(415 床)×暦日数)で除した割合

臨床指標
がん治療数と がん治療成績

当院で治療している患者数や治療成績について示します。

当院では、ご来院いただいたがん患者さんの情報収集と登録事業を行っています（**院内がん登録事業**）。**院内がん登録事業**は「がん診療連携拠点病院」の「院内がん登録標準登録様式」に準拠した情報収集項目となっており、また「がん登録等の推進に関する法律」「院内がん登録の実施にかかる指針（厚生労働省告示第４70 号　厚生労働大臣指針）」に則り、がん診療を評価する指針として用いられる生存率の算定のために、登録させていただいたがん患者さんの生存確認調査を定期的に行っています。本事業においては「がん登録等の推進に関する法律」および「個人情報の保護に関する法律」に基づき、個人情報の保護に努めています。

また、神奈川県では県内におけるがん情報を継続的に収集・管理しています。当院は、この事業の実施機関として県より委託を受け、400 以上の県内医療機関から届けられたがん情報を一括管理しています（**神奈川県地域がん登録事業**）。

本編は、当院の医事データ、**院内がん登録事業**に提出されたデータ、**神奈川県地域がん登録事業**に提出されたデータに基づいています。

☞　神奈川県全体のがん情報については、当院ホームページから「がん情報ページ」あるいは「がん登録」をご参照ください。

臓器別 新規がん患者数

指標	2018 年	2019 年	2020 年
口唇･口腔及び咽頭の悪性新生物	141	144	161
消化器の悪性新生物	1,785	1,799	1,887
呼吸器及び胸腔内蔵器の悪性新生物	733	797	758

骨及び関節軟骨の悪性新生物	11	22	23
皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物	11	22	9
中皮及び軟部組織の悪性新生物	109	107	95
乳房の悪性新生物	572	601	581
女性性器の悪性新生物	298	344	380
男性性器の悪性新生物	513	749	674
尿路の悪性新生物	212	208	240
眼、脳及び中枢神経系のその他の悪性新生物	11	15	25
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物	109	152	115
部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物	28	50	38
リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	266	260	312
独立した(原発性)多部位の悪性新生物	0	0	0

院内がん登録事業(2018 年度から 2020 年度)に提出されたデータを基に記載
悪性新生物は、「がん」と同義です
当院に来院されても、がんと診断されなかった患者数は含まれません

診療科別手術件数

☞　手術術式別の詳細は、当院 HP から「診療科・部門・センター」→「診療実績」をご参照ください。

指標	2019 年	2020 年	2021 年
合計	3577	3599	3681
形成外科	140	149	160
呼吸器外科	507	466	567
骨軟腫瘍外科	227	217	279
消化器外科胃食道	291	312	258
消化器外科肝胆膵	231	240	235
消化器外科大腸	373	339	385
消化器内科消化管	4	5	6
頭頸部外科	125	141	132
乳腺科(*1)	608	604	438
甲状腺科(*1)	–	–	140
脳神経外科	57	48	61
泌尿器科	697	735	689
婦人科	287	320	306
血液内科(*2)	20	19	23
腫瘍内科(*2)	4	1	2
その他	5	3	–

*1: 2019 年と 2020 年は、乳腺科と甲状腺科は一括集計し、2021 年は独立集計
*2: 手術室にて全身麻酔下で実施された骨髄採取術を集計

低侵襲治療件数

☞　肝胆膵領域の低侵襲治療実績は、当院ホームページから「診療科・部門・センター」→「消化器内科（肝胆膵）」をご参照ください。

指標	2019 年	2020 年	2021 年
腹腔鏡/体腔鏡/胸腔鏡下手術件数	843	844	908

ロボット支援下手術数	210	251	253

内視鏡検査・治療件数

指標	2019 年	2020 年	2021 年
上部消化管内視鏡件数	6050	5447	5416
下部消化管内視鏡件数	1938	1743	1786
内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)数	817	888	957
気管支鏡(BF)数	--	500	443
食道 EMR/ESD 数	71	76	72
胃・十二指腸 EMR/ESD 数	211	160	121
大腸 EMR/ESD/cold polypectomy 数	860	804	778
消化管ステント留置術数	107	92	106

全身化学療法件数

指標	2019 年	2020 年	2021 年
外来化学療法件数	24,299	25,913	26,536
入院化学療法件数	3,922	3,744	3,267
薬剤管理指導料件数(*1)	4,390	4,295	3,799
がん患者指導管理件数(*2)	2078	2308	2896
化学療法無菌製剤件数(入院・外来)(*3)	35,171	36,621	37,261

*1: 入院中の患者に対して、薬剤師が服薬指導した件数
*2: 外来患者に対して、専門の薬剤師が抗がん剤治療に関して指導した件数
*3: 薬剤師が関与して、無菌的操作により調剤した件数

放射線治療・重粒子線治療件数

☞　放射線治療数・重粒子線治療数は、当院 HP から「診療科・部門・センター」→「放射線治療科」→「診療実績」をご参照ください。

がん支持治療件数

指標	2019 年	2020 年	2021 年
がん相談件数(*1)	8034	6512	6549
リンパ浮腫指導管理料(入院/外来)(*2)	335/248	340/267	331/265
がん治療連携計画策定料(*3)	2	76	265
がん患者指導管理料(イ)(*4)	1,514	1,184	652
がん患者指導管理料(ロ)(*5)	464	747	745
がん患者指導管理料(ハ)(*6)	3,477	3,634	4,234
スキンケア外来患者数(*7)	1,040	997	1,038
入院準備問診(*8)	540	1,029	1,160
お薬調査件数(*9)	229	919	1484
アピアランスサポート個別相談件数(*10)	677	372	337

栄養指導（外来/入院）（*11）	6,728/3,091	5,449/2,510	3,965/2,186
周術期等口腔機能管理（Ⅲ）件数（*12）		2,494	2,506
リハビリテーション単位数（*13）	22,957	18,989	21,829

*1: 専門スタッフが、対面あるいは電話にてがん相談支援を行った件数
*2: がん手術後にリンパ浮腫と診断された患者さんを対象に治療・生活指導等を行った件数
*3: 入院中の患者さんに地域連携診療計画（地域連携パス）に基づく治療計画を説明した件数
*4: 緩和ケア研修を修了した医師と認定看護師が同席して、診断や方針を説明した件数
*5: 緩和ケア研修を修了した医師または認定看護師が、診断や方針を説明した件数
*6: 抗がん剤が投与されている患者さんに、医師または薬剤師が薬剤の説明を行った件数
*7: 皮膚・排泄ケア認定看護師が、ストーマをもつ患者さんのケアやトラブルに対応した件数
*8: 手術前に外来患者さんに看護師が入院に関する指導を行った件数
*9: 術前中止薬等を含め、薬剤師が持参薬をチェック・指導した件数
*10: がん治療に伴う外見上の変化による苦痛軽減のために患者支援を行った件数
*11: がん等に対する特別食が必要な患者さんに対する管理栄養士による指導で、当施設では全て個別指導件数をカウント
*12: 放射線治療や化学療法を実施する患者の口腔機能を管理指導した件数
*13: 理学療法、作業療法、言語聴覚法を個別にリハビリした件数で、20 分を 1 単位とする

治験数

指標	2019 年	2020 年	2021 年
治験新規受託数	53	52	52

がん種別５年相対生存率

指標	2012 年 男/女	2013 年 男/女	2014 年 男/女
全部位（%）	64.6/71.2	64.9/71.8	65.6/72.3
口腔・咽頭（%）	56.3/68.9	59.3/65.7	57.0/71.0
食道（%）	45.7/55.4	45.0/52.3	44.8/46.1
胃（%）	67.0/67.1	66.1/67.0	64.9/66.8
結腸（%）	78.0/77.1	78.7/76.3	80.8/77.8
直腸（%）	74.5/76.9	74.5/79.7	76.9/78.4
肝・肝内胆管（%）	35.3/34.3	33.8/33.6	37.0/34.6
胆のう・胆管（%）	29.3/21.4	28.9/24.5	29.3/21.9
膵（%）	11.0/10.8	9.1/12.1	11.9/11.3
喉頭（%）	79.9/91.1	79.9/87.8	83.1/86.0
肺（%）	30.1/49.3	31.9/49.0	30.2/50.0
骨（%）	52.8/58.5	68.8/58.1	83.1/66.8
皮膚（%）	93.8/91.5	96.2/97.3	95.2/95.5
乳房（%）	83.8/91.4	94.4/91.2	80.5/91.2
子宮（%）	−/77.5	−/78.4	−/78.7
（子宮頸）（%）	−/72.9	−/74.4	−/77.3
（子宮体）（%）	−/81.7	−/81.8	−/79.9
卵巣（%）	−/59.4	−/61.9	−/64.8
前立腺（%）	98.0/−	96.4/−	96.8/−
腎（%）	79.4/81.0	78.2/78.4	82.6/76.2

膀胱(%)	84.5/78.9	84.9/76.1	83.4/81.6
脳(%)	33.6/40.7	26.5/33.4	27.3/31.6
甲状腺(%)	89.9/96.5	92.4/91.9	93.4/95.0
白血病(%)	43.1/51.0	46.4/49.9	44.3/53.8

神奈川県地域がん登録事業(2012 年度から 2014 年度)に提出されたデータをもとに記載
生存率は、それぞれのがん種における全ステージを含めた計算です

臨床指標
安全・安心ながん治療

神奈川県立がんセンターにおける医療安全は、以下の５つを基本柱として活動しています。

- 安全管理体制の構築
- 医療安全に関する職員への教育・研修の実施
- 医療事故を防止するための情報収集、分析、対策立案、フィードバック、評価
- 医療事故への対応
- 医療安全文化の醸成

☞　当院の医療安全に関しては、当院ホームページから「病院のご案内」→「医療安全への取り組み」をご参照ください。

医療安全への取り組み

項目	2019 年	2020 年	2021 年
ヒヤリ・ハット報告数（*1）	3,275	3,373	3,232
レベル 3b 以上の年間件数（*2）	4	4	2
転倒転落率（‰）（*3）	2.5	2.2	2.3
褥瘡発生率（%）（*4）	0.93	0.77	0.71

*1: 当院内にある医療事故・ヒヤリハット報告システムへの報告件数
*2: 報告数のうち、レベル 3b 以上の件数
*3: 入院患者述べ数に対する、入院中に発生した転倒・転落発生割合
*4: 入院患者述べ数に対する、入院中に発生した褥瘡発生割合

院内感染への取り組み

項目	2019 年	2020 年	2021 年
血液培養2セット実施率（*1）	97.6	97.5	97.2

MRSA 検出率(*2)	0.18	0.26	0.33
MRSA 感染率(*3)	0.09	0.14	0.25

＊1: 血液培養のオーダーが 1 日に 2 件以上ある日数(人日)を血液培養のオーダー日数(人日)で除したもの
＊2: 入院患者の MRSA 検出数を延入院患者日数で除した割合(×1000)
＊3: 入院患者の MRSA 感染件数を延入院患者日数で除した割合(×1000)

臨床指標
がん診療における地域貢献

がん診療という専門性の高い医療を担うために、県内の広い地域からの病診連携に努めています。

また、重粒子線治療施設は全国に７ヶ所しかないため（令和５年６月現在）、神奈川県にとどまらず、周辺地域からの治療も積極的に受け入れています。

紹介患者の地域

指標	2019 年	2020 年	2021 年
横浜市	7,035	7,013	6,328
川崎市	216	310	319
横須賀市	241	266	235
平塚市	104	104	122
鎌倉市	179	118	145
藤沢市	568	473	443
小田原市	67	69	55
茅ヶ崎市	186	216	136
逗子市	24	25	28
相模原市	592	562	440
三浦市	39	36	31
秦野市	94	66	82
厚木市	146	175	173
大和市	705	719	661
伊勢原市	39	34	16
海老名市	336	291	264
座間市	333	274	265
南足柄市	47	31	21
綾瀬市	208	266	181
三浦郡	8	19	19
高座郡	72	58	24

愛甲郡	39	23	26
中郡	18	11	20
足柄上郡	39	21	29
足柄下郡	7	17	24
県外	548	492	453

逆紹介率

指標	2019 年	2020 年	2021 年
逆紹介率(%)(*1)	74.5	73.6	91.8

*1: 逆紹介患者数を初診患者数で除した割合

臨床指標
患者サービス・ほか

慢性的な課題となっている外来待ち時間の軽減にむけて、会計における待ち時間を一つの改善指標として評価しています。

また、医療サービスに対する患者さんのニーズが多様化し、複雑化している中で、患者さんアンケート調査などを通して問題点を検討し、より適切な患者サービスを目指します。

外来会計待ち時間

指標	2019 年	2020 年	2021 年
外来会計待ち時間（分）	18.7	15.9	15.8

患者さん一人あたりの平均外来会計待ち時間（患者さんが会計受付に緑ファイルを提出してから自動精算機への支払いを案内するまでの時間）

患者満足度

指標	2019 年	2020 年	2021 年
患者満足度（%）（入院）	92.3	92.4	94.3
患者満足度（%）（外来）	87.2	82.1	89.7

入院患者さんあるいは外来患者さんを対象に、毎年 10 月～11 月の 2 週間にアンケート用紙を配布して回収
「全体としてこの病院に満足している」の質問に対する回答（「全くそうだ」「ややそうだ」「どちらでもない」「ややちがう」「全くちがう」）のうち、上位 2 つ「全くそうだ」と「ややそうだ」の回答割合

入院食事満足度

指標	2019 年	2020 年	2021 年
入院食事満足度（1～5 点）	3.65	3.62	3.75

毎年3月に、予定した 1 日に入院していた（絶食者を除く）全患者さんからアンケートを実施し、非常に満足を 5 点、満足を 4 点、不満を2点、非常に不満を 1 点として集計した平均値

医療経済への貢献

指標	2019 年	2020 年	2021 年
後発医薬品数量割合（%）	89.6	89.8	89.8

採用医薬品の規格単位数量を（後発薬品あり先発医薬品＋後発医薬品の規格単位数量）で除した割合

臨床指標
スタッフ育成

がん専門病院では、がん診療に関連する専門職の育成に努めています。

公的に認定をうけた専門資格のうち、特にがんの診療に関わるものをピックアップしました。有資格者数は、2023 年度現在の在籍数を示し、1 人の職員が複数の資格を持つ場合は重複してカウントしています。

専門看護師数

資格名	認定機関	有資格者数
がん看護専門看護師	日本看護協会	8
家族支援専門看護師	日本専門看護師協会	1
がん性疼痛看護認定看護師	日本看護協会	5
がん化学療法看護認定看護師	日本看護協会	2
緩和ケア認定看護師	日本看護協会	6
集中ケア認定看護師	日本看護協会	2
皮膚・排泄ケア認定看護師	日本看護協会	4
乳がん看護認定看護師	日本看護協会	3
手術看護認定看護師	日本看護協会	1
がん放射線療法看護認定看護師	日本看護協会	1
感染管理認定看護師	日本看護協会	2
認定看護管理者	日本看護協会	2

専門医師・専門歯科医師数

分野	資格名	認定機関	有資格者数
がん	がん薬物療法専門医	臨床腫瘍学会	10
	がん治療認定医	日本がん治療認定医機構	16
診療科	整形外科専門医	日本整形外科学会	2

	麻酔科専門医	日本麻酔科学会	5
	放射線科専門医	日本医学放射線学会	7
	産婦人科専門医	日本産婦人科学会	6
	耳鼻咽喉科専門医	日本耳鼻咽喉科学会	4
	泌尿器科専門医	日本泌尿器科学会	6
	形成外科専門医	日本形成外科学会	1
	認定病理専門医	日本病理学会	7
	総合内科専門医	日本内科学会	14
	外科専門医	日本外科学会	28
	糖尿病専門医	日本糖尿病学会	1
	肝臓専門医	日本肝臓学会	9
	感染症専門医	日本感染症学会	1
	救急科専門医	日本救急医学会	2
	血液専門医	日本血液学会	6
	循環器科専門医	日本循環器科学会	1
	呼吸器専門医	日本呼吸器学会	8
	消化器病専門医	日本消化器病学会	18
	消化器外科専門医	日本消化器外科学会	16
	超音波専門医	日本超音波医学会	2
	細胞診専門医	日本臨床細胞学会	9

専門薬剤師数

資格名	認定機関	有資格者数
病院薬学認定薬剤師	日本病院薬剤師会	13
がん専門薬剤師	医療薬学会	1
がん薬物療法認定薬剤師	日本病院薬剤師会	4
外来がん治療認定薬剤師	臨床腫瘍薬学会	2
感染制御認定薬剤師	日本病院薬剤師会	2
抗菌化学療法認定薬剤師	日本化学療法学会	3
栄養サポートチーム専門療法士	日本臨床栄養代謝学会	2
周術期管理チーム薬剤師	日本麻酔科学会	1
認定実務実習認定薬剤師	薬学教育協議会	2
医療情報技師	日本医療情報学会	1
スポーツファーマシスト	日本アンチ･ドーピング機構	1
放射線医薬品取り扱いガイドライン講習会修了	日本病院薬剤師	3

そのほかの専門資格・専門研修等の取得者数

分野	資格名	認定機関	有資格者数
がんゲノム	認定病理検査技師（病理）	日本検査血液学会	1
放射線	検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	日本乳がん検診精度管理中央機構	5
	肺がん CT 検診認定技師	肺がん CT 検診認定機構	3
	放射線治療専門放射線技師	日本放射線治療専門放射線技師認定機構	8
	放射線治療品質管理士	放射線治療品質管理機構	5

	医学物理士	日本医学物理学会	7
栄養	NST 専門療法士	日本臨床栄養代謝学会	3
	病態栄養専門管理栄養士	日本病態栄養学会	4
	がん病態詠唱専門管理栄養士	日本病態栄養学会	2
医療の質	医療メディエーター（基礎）	日本医療メディエーター協会	39
	医療クオリティマネージャー	日本医療機能評価機構	2
医療安全	医療安全管理者研修	種々の認定機関	医師 9 看護師 13 薬剤師 3 技師 1
臨床試験・臨床研究	認定 CRC（*1）	日本薬理学会	3
	認定ジュニア CRC（*1）	日本癌治療学会	4
	がん臨床研究専門職認定	日本臨床試験学会	1
緩和ケア	緩和ケア研修会	都道府県	87

*1: Clinical Research Coordinator

臨床指標
スタッフ環境

毎年、職場環境に対する調査を実施して環境整備に関して検討しています。

職員満足度

指標	2019 年	2020 年	2021 年
アンケート回収率(%)	78.2	76.5	66.8
アンケート回答者の職員構成比(%)	医師 5.7 看護師 30.6 看護補助 3.7 技師 14.0 事務系 17.9 サービス 25.6	医師 6.7 看護師 27.1 看護補助 3.6 技師 13.9 事務系 18.8 サービス 27.1	医師 8.5 看護師 28.8 看護補助 3.5 技師 12.1 事務系 16.8 サービス 27.4
満足度(%)	55.4	62.0	60.5

全職員を対象に、毎年 10 月～11 月の 2 週間にアンケート用紙を配布して回収
満足度は、「この病院で働くことにしてよかったと思う」の質問に対する回答(「全くそうだ」「ややそうだ」「どちらでもない」「ややちがう」「全くちがう」)のうち、上位 2 つ「全くそうだ」と「ややそうだ」の回答割合